



みんな元気！ 学校元気！ ふるさと元気！

# 「元気！」 第9号



令和6年1月12日(金)発行

(りんどうヶ丘小ホームページQRコードです。給食やブログ等をご覧ください)

## オール1の落ちこぼれ、 教師になる、そして主夫へ！

新年明けましておめでとうございます。

今年もよろしくお願ひ致します。

これは、以前聴いた講演会でのお話です。

「オール1の落ちこぼれ、教師になる」の著書で有名な宮本延春氏の講演がありました。宮本氏は、小学校も中学校も転校を繰り返して、「勉強嫌い」と「いじめ」に悩みながらも誰にも相談できず、**中学校1年の時に「オール1」の通知表**をもらいました。漢字は名前だけ、英語はbookのみ、九九は2の段までしかわからないほどだったそうです。

中学校卒業後は、大工見習いとなりますが親方の罵倒に耐えられずやめてしまいます。その後、16歳で母親を癌で亡くし、18歳で父親も病気で亡くし天涯孤独となりました。

そして、フリーターを経験した後、建設会社社員をやりながら、**23歳**の時に見たNHKスペシャル「**アインシュタインロマン**」に感銘を受け、物理学を学びたいと関心を持ちました。そこで、小学校低学年の算数ドリルから勉強をやり直し、地元の**高校の定時制**に通いました。努力の結果、**27歳**で**名古屋大学理学部物理学科に合格**し、物理学の研究に没頭し、同大学院理学研究科修士課程、同博士課程へと進み、**36歳**で豊川**高校の教諭**に採用されました。

大学在学中に結婚し、二人の子供に恵まれました。下のお子さんに発達障害があったため保育園までは共働きのまま送迎ができたのですが、小学校は特別支援学校に入学したので、送迎の関係で、どうしても夫婦のどちらかが仕事を辞めざるを得ない状況になったそうです。

そこで、話し合いの結果、夫の方が、高校教師を辞め「**主夫**」となったのです。妻は夫へ「**働かせてくれてありがとう**」と言い、夫は妻へ「**主夫をさせてくれてありがとう**」と答えているそうです。この**お互いの感謝の心を伝え合う言葉**は、日本理化学工業の創設者で会長の**大山泰弘**氏の言葉が原点になっているということです。

その言葉とは、「**人間の究極の幸せの4つ**」だそうです。

## 人間の究極の幸せの4つ

1. 人に愛されること
2. 人にほめられること  
(感謝されること)
3. 人の役に立つこと
4. 人に必要にされること

なるほどと思う言葉ですよ。家庭内においても、仕事の上でも、地域にあっても、この4つの言葉は当てはまると思います。もちろん、毎日**学校生活を送っている子供達**にも当てはまります。

人間、一人では生きていけません。たくさんの人々のお世話になりながら生活しております。「**持ちつ持たれつ**」という言葉があります。が、**お互いに相手の立場を理解し、協力**し合うことが大切だと思います。

また、「**ブーメラン現象**」という言葉もあります。**自分がしたことはいつか自分へ返ってくる**という意味です。「人を愛していたら、いつか人から愛される」、「人をほめていたら、いつか人からほめられる」、「人に感謝の気持ちを持っていたら、いつか人から感謝される」ということだと思います。常に自分に言い聞かせて暮らしていきたいと思います。

ところで、今年はお正月元日から**能登半島を襲った地震**によりたくさんの尊い命が奪われました。お亡くなりになった方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。また、被害に遭われたり避難生活を余儀なくされたりしておられる方々へ心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧復興を願っております。

そこで、本校児童会では、例年この時期に「**赤い羽根共同募金**」を行っておりますが、今年も熊本地震の時の全国からの支援に感謝しながら、今度は能登半島地震により被害を受けられた小学校にピンポイントで支援が出来ないかと考えました。児童会で話し合った結果、「**募金を行って図書・クオカードを贈ろう!**」ということになりました。**子どもたちの善意が被災地の小学生の元気につながればいいなあ**と思っています。どうか、趣旨をご理解のうえ、ご協力をよろしくお願い致します。

<めざす家庭・地域像>

笑顔と元気がいっぱいの家庭・地域！ 安心して生活できる家庭・地域！ 子どもの夢実現を支える家庭・地域！